

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月3日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社博展

コード番号 2173 URL <http://www.hakuten.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 正則

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 玉井 昭

TEL 03-6278-0010

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,224	78.2	111	—	110	—	65	—
24年3月期第1四半期	686	△32.7	△36	—	△17	—	△18	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	19.25	18.54
24年3月期第1四半期	△5.42	—

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	1,863	816	43.7	239.24
24年3月期	1,984	785	39.5	230.03

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 815百万円 24年3月期 783百万円

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	2,000.00	2,000.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。そのため、平成25年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,100	25.7	68	307.9	63	31.6	34	△24.1	9.98
通期	4,500	13.3	200	21.8	185	△4.0	100	△48.3	29.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	3,408,000 株	24年3月期	17,040 株
----------	-------------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	— 株	24年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	3,408,000 株	24年3月期1Q	16,914 株
----------	-------------	----------	----------

(注)当社は平成24年4月1日付で普通株式1株につき200株の割合で株式分割を行っております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の実績は、今後様々な要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。なお、上記業績予想のご利用にあたっては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. 補足情報	8
生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間のわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかな回復傾向にありましたが、欧州債務問題等による海外経済の低迷や電力供給問題、円高の影響等により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の属する広告・イベント業界におきましては、東日本大震災後の大きな落ち込みからようやく震災以前の水準に戻りつつあり、比較的安定した経営環境へと移行してまいりました。また、当社の主要事業領域でありますFace to Faceマーケティング市場におきましては、企業の販促・プロモーション施策において、Face to Faceマーケティング手法への見直しの流れが徐々に表れ、力を入れ始める企業も増加してまいりました。

このような環境の中で当社は、Face to Faceマーケティングが行われる場をデザインする「点」のサポートから、集客やアフターフォローまで支援する「線」のサポート、そしてFace to Faceマーケティングにおけるあらゆるニーズに応える「面」のサポートへと、企業のマーケティングサポートをより手厚く行うことのできる企業へと成長すべく、取り組みを進めてまいりました。

出展サポートサービスにおきましては、競争力を高めシェアを拡大させるために、従来からの強みである高いデザイン力と施工力による高品質な空間づくりだけでなく、会期中の運営・演出や、事前の集客サービス、事後の効果測定や来場者へのアフターフォロー等、出展効果を最大化するためのサービスの強化に取り組んでまいりました。

また、主催サポートサービスにおきましては、最も得意とする合同展示会の事務局サポートにおいて、出展サポートによって培ったノウハウを活かして他社との差別化を図るとともに、新たなイベント分野への進出に向けた取り組みを開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は、震災の影響により市場が大きく収縮した前年同四半期から78.2%増加し12億24百万円、営業利益は1億11百万円(前年同四半期は営業損失36百万円)、経常利益は1億10百万円(前年同四半期は経常損失17百万円)、四半期純利益は65百万円(前年同四半期は四半期純損失18百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における財政状態は、資産合計18億63百万円(前事業年度末比6.1%減)、負債合計10億47百万円(前事業年度末比12.7%減)、純資産合計8億16百万円(前事業年度末比4.0%増)となりました。

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は15億97百万円(前事業年度末比1億20百万円減少)となりました。これは、売掛金(前事業年度末比1億43百万円増加)が増加したものの、借入金の返済及び配当金の支払等により現金及び預金(前事業年度末比2億66百万円減少)が減少したことが主な要因となっております。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は2億66百万円(前事業年度末比0百万円増加)となりました。これは、新規取得等により有形固定資産(前事業年度比1百万円増加)が増加したものの、減価償却により無形固定資産(前事業年度比1百万円減少)が減少したことが主な要因となっております。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は7億49百万円(前事業年度末比91百万円減少)となりました。これは、買掛金(前事業年度末比55百万円減少)や賞与引当金(前事業年度末比46百万円減少)が減少したことが主な要因となっております。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は2億97百万円(前事業年度末比61百万円減少)となりました。これは、約定返済により長期借入金(前事業年度末比60百万円減少)が減少したことが主な要因となっております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は8億16百万円(前事業年度末比31百万円増加)となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金(前事業年度末比31百万円増加)が増加したことが主な要因となっております。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における業績経過は、概ね計画通りに推移しているため、第2四半期累計期間並びに通期の業績予想につきましては、平成24年5月14日の決算発表時に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ33千円増加しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	789,305	523,242
受取手形	43,278	55,470
売掛金	760,026	903,269
仕掛品	51,205	54,368
原材料及び貯蔵品	1,401	1,419
その他	83,739	72,621
貸倒引当金	10,735	12,869
流動資産合計	1,718,220	1,597,522
固定資産		
有形固定資産	155,383	156,520
無形固定資産	12,250	11,083
投資その他の資産		
その他	101,049	101,066
貸倒引当金	2,276	2,210
投資その他の資産合計	98,772	98,856
固定資産合計	266,406	266,460
資産合計	1,984,626	1,863,982
負債の部		
流動負債		
買掛金	298,075	242,875
1年内返済予定の長期借入金	276,271	257,545
未払法人税等	38,732	26,342
賞与引当金	95,145	48,961
工事補償引当金	204	73
その他	132,318	173,772
流動負債合計	840,748	749,570
固定負債		
長期借入金	358,213	297,665
その他	470	-
固定負債合計	358,683	297,665
負債合計	1,199,432	1,047,235
純資産の部		
株主資本		
資本金	158,203	158,203
資本剰余金	138,203	138,203
利益剰余金	487,428	518,966
株主資本合計	783,834	815,372
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119	39
評価・換算差額等合計	119	39
新株予約権	1,240	1,413
純資産合計	785,194	816,746
負債純資産合計	1,984,626	1,863,982

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	686,788	1,224,183
売上原価	435,050	816,089
売上総利益	251,738	408,094
販売費及び一般管理費	287,801	296,322
営業利益又は営業損失()	36,062	111,771
営業外収益		
受取配当金	20	33
雑収入	21,611	981
営業外収益合計	21,631	1,014
営業外費用		
支払利息	3,014	2,249
雑損失	23	509
営業外費用合計	3,038	2,758
経常利益又は経常損失()	17,469	110,027
特別損失		
固定資産除却損	644	-
特別損失合計	644	-
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	18,114	110,027
法人税、住民税及び事業税	206	24,604
法人税等調整額	-	19,804
法人税等合計	206	44,408
四半期純利益又は四半期純損失()	18,321	65,618

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当社は、企業や団体の広告活動・販促活動に伴う、情報伝達を目的とした各種イベント及びマーケティングツールの企画・制作・運営を主たる業務として行っており、生産実績を定義することが困難であるため、生産実績の記載はしていません。

(2) 受注状況

当第1四半期累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
コミュニケーションデザイン事業	1,143,782	143.0	1,057,162	132.7
合計	1,143,782	143.0	1,057,162	132.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第1四半期累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比(%)
コミュニケーションデザイン事業(千円)	1,224,183	178.2
合計(千円)	1,224,183	178.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。